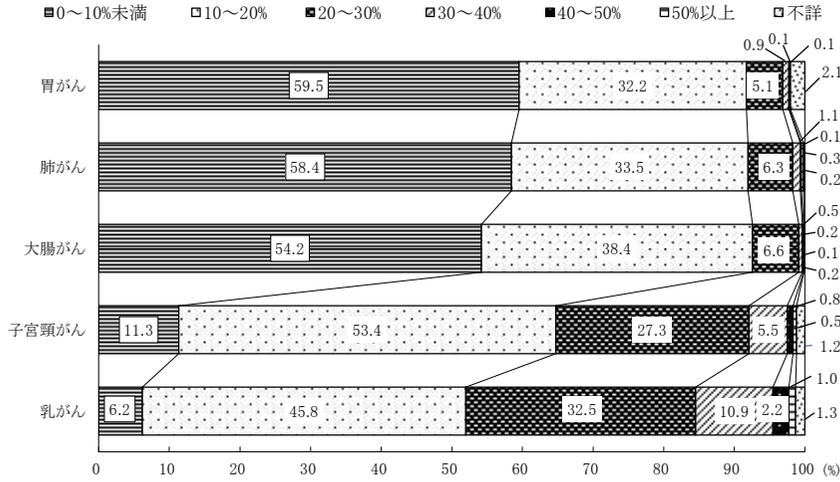


図3 市区町村におけるがん検診受診率の状況

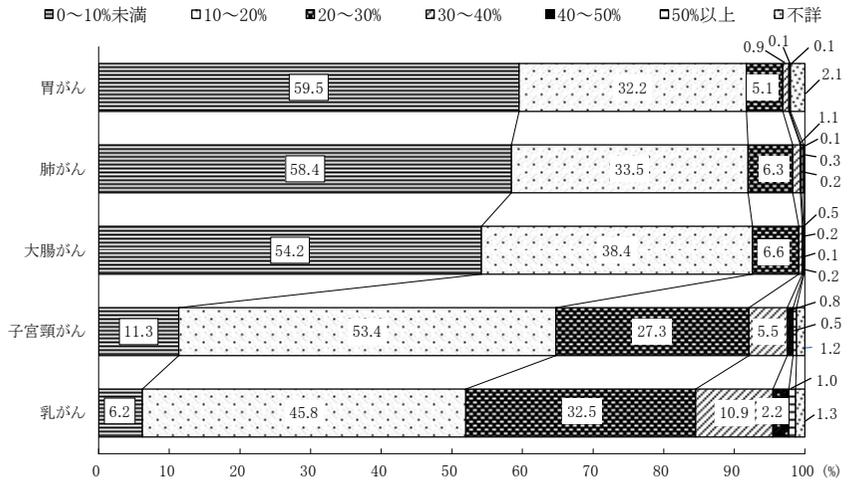
令和3(2021)年度



注：「がん対策推進基本計画」（平成24年6月8日閣議決定）及び「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」（平成20年3月31日健康局長通知別添）に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を40歳から69歳（「胃がん」は50歳から69歳、「子宮頸がん」は20歳から69歳）までとした。「受診率」については、「IV 用語の解説」28頁「がん検診受診率」参照。

図3 市区町村におけるがん検診受診率の状況

令和3(2021)年度



注：「がん対策推進基本計画」（平成24年6月8日閣議決定）及び「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」（平成20年3月31日健康局長通知別添）に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を40歳から69歳（「胃がん」は50歳から69歳、「子宮頸がん」は20歳から69歳）までとした。「受診率」については、「IV 用語の解説」28頁「がん検診受診率」参照。

(3) 令和2年度がん検診受診者における要精密検査の受診状況

令和2年度に市区町村が実施したがん検診における要精密検査者数のうち、がんであった者数のがん検診受診者数に対する割合は、「胃がん」0.11%、「肺がん」0.03%、「大腸がん」0.16%、「子宮頸がん」0.03%、「乳がん」0.31%となっている（表9）。

(3) 令和2年度がん検診受診者における要精密検査の受診状況

令和2年度に市区町村が実施したがん検診における要精密検査者数のうち、がんであった者数のがん検診受診者数に対する割合は、「胃がん」0.11%、「肺がん」0.03%、「大腸がん」0.16%、「子宮頸がん」0.03%、「乳がん」0.31%となっている（表9）。

表9 令和2年度がん検診受診者における要精密検査の受診状況

(単位:人) 令和2(2020)年度

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
がん検診受診者数 <sup>1)</sup>	1 237 707	2 773 789	3 316 896	3 215 945	1 947 300
要精密検査者数 <sup>1)</sup>	75 437	42 396	200 742	79 358	122 855
精密検査受診率 <sup>2)</sup> (%)	84.4	82.7	70.2	76.6	89.8
がん検診受診者数に対する割合 (%)	6.09	1.53	6.05	2.47	6.31
がんであった者数 <sup>1)</sup>	1 417	738	5 210	836	5 993
がん検診受診者数に対する割合 (%)	0.11	0.03	0.16	0.03	0.31
要精密検査者数に対する割合 (%)	1.88	1.74	2.60	1.05	4.88
精密検査未受診者数 <sup>1)</sup>	4 519	2 562	25 992	4 571	3 504
精密検査未受診率 <sup>2)</sup> (%)	6.0	6.0	12.9	5.8	2.9
精密検査未把握者数 <sup>1)</sup>	7 284	4 804	33 731	14 016	8 993
精密検査未把握率 <sup>2)</sup> (%)	9.7	11.3	16.8	17.6	7.3

注：「がん対策推進基本計画」（平成24年6月8日閣議決定）及び「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」（平成20年3月31日健康局長通知別添）に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を40歳から69歳（「胃がん」は50歳から69歳、「子宮頸がん」は20歳から69歳）までとした。

- 1) がん検診受診者数については令和2年度受診者を令和3年度報告で改めて把握したものである。また、令和3年度に精密検査を受診し、結果が判明した者についても含めている。
- 2) 率の算出に当たっては、「精密検査未受診者数」及び「精密検査未把握者数」の計数が不詳の市区町村を除いた値である。「精密検査受診率」、「精密検査未受診率」及び「精密検査未把握率」については、「IV 用語の解説」28頁参照。

表9 令和2年度がん検診受診者における要精密検査の受診状況

(単位:人) 令和2(2020)年度

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
がん検診受診者数 <sup>1)</sup>	1 237 707	2 773 789	3 316 896	3 215 945	1 947 300
要精密検査者数 <sup>1)</sup>	75 437	42 396	200 742	79 358	122 855
精密検査受診率 <sup>2)</sup> (%)	84.4	82.7	70.2	76.6	89.8
がん検診受診者数に対する割合 (%)	6.09	1.53	6.05	2.47	6.31
がんであった者数 <sup>1)</sup>	1 417	738	5 210	836	5 993
がん検診受診者数に対する割合 (%)	0.11	0.03	0.16	0.03	0.31
要精密検査者数に対する割合 (%)	1.88	1.74	2.60	1.05	4.88
精密検査未受診者数 <sup>1)</sup>	4 519	2 562	25 992	4 571	3 504
精密検査未受診率 <sup>2)</sup> (%)	6.0	6.0	12.9	5.8	2.9
精密検査未把握者数 <sup>1)</sup>	7 284	4 804	33 731	14 016	8 993
精密検査未把握率 <sup>2)</sup> (%)	9.7	11.3	16.8	17.7	7.3

注：「がん対策推進基本計画」（平成24年6月8日閣議決定）及び「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」（平成20年3月31日健康局長通知別添）に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を40歳から69歳（「胃がん」は50歳から69歳、「子宮頸がん」は20歳から69歳）までとした。

- 1) がん検診受診者数については令和2年度受診者を令和3年度報告で改めて把握したものである。また、令和3年度に精密検査を受診し、結果が判明した者についても含めている。
- 2) 率の算出に当たっては、「精密検査未受診者数」及び「精密検査未把握者数」の計数が不詳の市区町村を除いた値である。「精密検査受診率」、「精密検査未受診率」及び「精密検査未把握率」については、「IV 用語の解説」28頁参照。